



四万十つるの里づくりの会 令和5年度取り組みダイジェスト

令和5年

※この資料の作成にあたっては、夕部眞一氏（四万十つるの里づくりの会）及び国土交通省中村河川国道事務所から写真を提供していただきました。

年間を通じて

江ノ村地区でのツルのねぐら・餌場づくり

《実施内容》ツルの越冬地となるよう、江ノ村の休耕地を復田し、地元で農業を営む会員に稲作を行ってもらいました。稲刈り後のツル渡来時期にはツルがねぐらとして利用できるよう、水田に水を張りました（冬季湛水）。

5月

のいち動物公園での出張パネル展

期 間 ■ 5月27日～6月25日
場 所 ■ 高知県立のいち動物公園（香南市）
主 催 ■ （公財）高知県のいち動物公園協会
協 力 ■ 四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会、
四万十つるの里づくりの会、
国土交通省中村河川国道事務所



《実施内容》四万十市にツルが来ることを多くの人たちに知ってもらうため、高知県の人気施設であるのいち動物公園でパネル展を開催。5月27日と28日には取り組み等の解説も行い、150名を超える方々に展示をご覧いただきました。

9月

令和5年度総会

日 時 ■ 9月12日 14:00～15:00
場 所 ■ 四万十市防災センター 参加者 ■ 17名

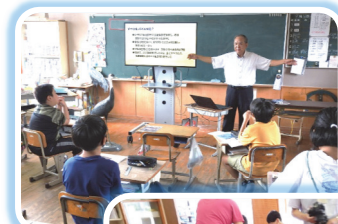
《実施内容》コロナ禍を経て、3年ぶりに対面で開催しました。前年度の事業内容や収支決算の報告と承認の後、本年度の取り組みについて審議しました。例年の活動の継続の他、ねぐらづくりに特に力を入れ、地元の小学生の協力も得て「平面デコイ」を本格的に導入することになりました。



ツルの学習会（①授業、②平面デコイ作成）

日 時 ■ ① 9月14日 10:35～11:20 ② 9月28日 10:35～11:20
場 所 ■ 四万十市立東中筋小学校
参加者 ■ ① 17名（東中筋小学校5・6年生9名、その他8名）
② 20名（東中筋小学校5・6年生10名、その他10名）
共 催 ■ 国土交通省中村河川国道事務所

《実施内容》
①総合学習の時間を活用し、四万十市に飛来するツルの生態や昭和の頃からの確認数の推移、保護活動のあゆみ等を紹介しました。
②子どもたちに「平面デコイ」を作ってもらいました。ツルの形にくり抜かれた板に色を塗って、乾かしての繰り返し。学習会後も作業を続け、約6時間かけて完成させました。



四万十市のツル パネル・写真展

期 間 ■ 9月27日～10月13日（四万十市役所）、
10月26日～11月7日（フジグラン四万十）
共 催 ■ 四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会
協 力 ■ （株）建設マネジメント四国

《実施内容》ツルを身近な鳥として感じてもらうため、四万十市民の集まる場所にツルの写真等を展示しました。



10月

秋の「ツルの自然体験学習会」

日 時 ■ 10月27日 14:00～15:40
場 所 ■ 四万十市江ノ村
参加者 ■ 31名（東中筋小学校5・6年生10名、その他21名）
共 催 ■ 国土交通省中村河川国道事務所

《実施内容》当会がねぐらづくり（冬季湛水）をしている江ノ村の2カ所の水田で、子どもたちがナベヅルそっくりの「立体デコイ」と、自分たちで作った「平面デコイ」を4体ずつ設置しました。



地域の皆様、国土交通省中村河川国道事務所、（一社）四国クリエイト協会、（株）建設マネジメント四国など、多くの方々の協力や助成を得て、取り組みました。



取り組みの様子は
ホームページで公開中！

<http://www.nakamura-cci.or.jp/doc/tsuru/>



ツルの飛来状況調査

期 間 ■ 10月下旬～3月下旬
協 力 ■ 高知野鳥の会、国土交通省中村河川国道事務所

《実施内容》毎日夜明けにねぐらにいる種類と羽数を確認し、ねぐらから飛び立った後は、水田地帯を巡回して降りている場所（餌場）と羽数、行動を記録しました。夕暮れにはねぐらに戻ってくるかを確認しました。



越冬したナベヅル

《調査結果概要》初飛来は11月12日と例年より遅めで、江ノ村にナベヅル6羽が飛来し、ねぐらに入る際には9羽に増えていました。その後は1羽が合流して10羽となり、後川流域（安並、敷地や岩田など）を餌場にしていたのですが、11月20日にはいなくなりました。11月28日には家族とみられるナベヅル3羽（幼鳥1羽含む）が江ノ村の水田で確認されました。その後、一時所在不明となったものの、12月27日に四万十市に戻り、そのまま越冬。3月22日まで滞在しました。

11月

第15回 四万十つるの里祭り

日 時 ■ 11月25日 10:00～14:00 来場者 ■ 約600名
場 所 ■ 四万十市立東中筋中学校
後 援 ■ 四万十市、四万十川自然再生協議会
協 力 ■ 国土交通省中村河川国道事務所、渡川ダム統合管理事務所
助成支援 ■ （一社）四国クリエイト協会、（株）建設マネジメント四国
協 賛 ■ 地域のたくさんの事業者の皆様

《実施内容》多彩な催しを実施。東中筋小の子どもたちの学習発表やお米販売は今年も大好評でした。もち・菓子投げも再開し、皆さんに大変喜んでいただきました。



令和6年

1月

ツルのオンライン交流授業

日 時 ■ 1月25日 9:35～10:25 場 所 ■ 四万十市立東中筋小学校
参加者 ■ 22名（東中筋小学校6年生3名、
鹿児島県出水市立切通小学校6年生4名、その他15名）
共 催 ■ 国土交通省中村河川国道事務所、（公財）日本生態系協会
《実施内容》6年生同士が互いの取り組みを紹介し合い、意見交換を行いました。



2月

第5回 四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会（総会）

日 時 ■ 2月14日 15:00～17:00
場 所 ■ 四万十市防災センター
参加者 ■ 29名
事務局 ■ 国土交通省中村河川国道事務所
《実施内容》協議会では、多様な主体の連携・協働による四万十川の豊かな自然環境の保全・再生と地域活性化を目指し、その手始めとしてツルが飛来・越冬できる環境・社会づくりの取り組みを行っています。この日は会長が委員として参加し、R5年度の活動状況を共有しました。

生態系ネットワークの取り組み

当会の会長と会員の一部は、「四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会」のコア会議やツル部会に参加し、ツルを活かした地域づくりの具体的な取り組みについて知恵を出し合い、行動しています。

コア会議	第16回：6月21日	当会から 6名参加	ツル部会	令和5年度第1回ツル部会：6月15日	当会から 5名参加
	第17回：8月24日			令和5年度第2回ツル部会：10月26日	
	第18回：12月12日			令和5年度第3回ツル部会：R6.1月22日	

3月

環境活動見本市 幡多のエコ大集合 2024 in 黒潮町

日 時 ■ 3月10日 10:30～15:00 参加者 ■ 約360名
場 所 ■ 土佐西南大規模公園ふるさと総合センター（黒潮町）
主 催 ■ 高知県環境活動支援センターえこらぼ
協 力 ■ （特非）NPO 砂浜美術館、
（特非）高知県生涯学習支援センター

《実施内容》四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会の一員として、四万十市でのツルの里づくりに関するパネル展示と「羽ばたく折り鶴」の作り方教室を行いました。



会報「四万十つるだより」

R6.2月28日にVol.29を発行。地域の回覧や行事で配布中！

